

小規模家きん飼養農場や愛玩鶏飼育者の皆さんへ ～家きんを高病原性鳥インフルエンザウイルスから守りましょう!～

国内で高病原性鳥インフルエンザが発生したからといって、すぐにご家庭等で飼育している家きんが感染するというわけではありません。下記のことには注意していただければ、大切な家きんを高病原性鳥インフルエンザウイルスから守れます。飼育中の家きんを野山に放したり、処分するようなことはせず、冷静に対応しましょう。

① 日常の飼育管理の徹底

- 毎日、家きんを観察し、飼育小屋やその周辺を清潔に保ちましょう。
- 世話をした後は、手洗いやうがいをお願いします。

② 野鳥等と接触させない

- 飼育小屋には金網や防鳥ネット(2cm角以下)を張り、隙間を防ぎましょう。
- 餌や水は小屋の中に置き、餌が小屋の周辺に散乱ないようにしましょう。餌が散乱するとそれを狙う野鳥が接近してきます。
- 衛生的な水道水や井戸水を与えましょう。
- 小屋のそばには野鳥等が好む実なる木を植えるのはできるだけ避けましょう。

※防鳥ネットの購入について

農業資材販売所やホームセンター、インターネット等で購入可能です。資材の価格は、地域や店舗によっても異なるため、販売所にお問い合わせください。

③ ウイルスを持ち込まない

- 世話をする前・した後は、靴底や手等を消毒し、人を介したウイルスの侵入を防ぎましょう。
- 飼育場所の出入り口には、踏み込み消毒槽やアルコールスプレー等を設置しましょう。
- 人がみだりに飼育小屋に入らないように、「立入禁止」等と書いた看板や張り紙を設置しましょう。

※消毒薬について

- 鳥インフルエンザウイルスは一般的な消毒薬で消毒できます。次亜塩素酸ナトリウム液、アルカリ液、ホルムアルデヒド、クレゾール液、逆性石けん液等。逆性石けんは薬局等で購入できます。
- 消石灰

土壌改良材として、農業資材販売所やホームセンターで購入できます。小屋の周辺の地面にうっすら白くなるくらいにまいたり、ふんにふりかけてください。

<使用上の注意>

消毒薬が直接手や目に触れたり、吸い込んだりしないように手袋やマスク、ゴーグル等を着用し、使用説明書を必ず確認してください。



④ 飼育の記録と保存

- 鶏を購入した日、飼育小屋に部外者が入った日、鶏の具合が悪いときの症状等、その記録を残しましょう。

*** 飼養家きんが連続して死亡する等の異常があれば、家畜保健衛生所まで連絡を ***

問い合わせ

【家きん等の異常について】 ● 中央家畜保健衛生所：土佐市高岡町乙3229 (☎ 852-7730)

【死亡野鳥について】 ● 高知県鳥獣対策課：高知市丸ノ内1-2-20 (☎ 823-9039)

※夜間及び土、日、祝日は、☎ 823-1111(県庁)まで連絡してください。